

第 38 回海外投融資委員会議事要旨

1. 日時

2016 年 3 月 17 日(木)15:30～17:30

2. 場所

国際協力機構本部 6 階役員会議室

3. 出席者

(海外投融資委員会委員)

長島副委員長、赤羽委員、荒木委員、川口委員、千賀委員

4. 議事・報告

- ① 「アジアインフラパートナーシップ信託基金」(出資事業) 審査後審議
- ② バングラデシュ国「シラジガンジ高効率ガス火力発電事業」(融資事業) 審査前審議

5. 議事の要旨

- ① 「アジアインフラパートナーシップ信託基金」(出資事業) 審査後審議
事務局より説明を行い、下記の点について委員より意見が出された。
 - 1. 上記事業は、日本政府の政策である「質の高いインフラパートナーシップ」を支える第二の柱として位置づけられた「日本と ADB のコラボレーション」を具体化するものであり、アジア地域における質の高いインフラ案件の促進が期待される重要な事業である。同地域で豊富な実績を有する ADB との連携により PPP 等によるインフラ開発を促進することで同地域の PPP 事業等への民間投資の呼び水効果が期待されるなど、機構が支援する意義が認められるところ、海外投融資による支援を実施することは妥当と考える。
 - 2. 案件規模については過去の海外投融資案件と比較して巨額な投資となること、適切なノウハウの入手等の観点から JICA 職員の ADB 民間セクター局への派遣、案件監理段階での ADB 側との協議を通じ、出資後も JICA として適切な関与を行い、目的・成果の達成に向けた対応を行う事が必要。
- ② バングラデシュ国「シラジガンジ高効率ガス火力発電事業」(融資事業) 審査前審議
事務局より説明を行い、下記の点について委員より意見が出された。
 - 1. 事業者の実施能力や操業能力、財務体力等を審査・精査し、プロジェクト関連契約の実行が可能な体制となっているか確認すること。
 - 2. プロジェクトの着実な推進を確保する観点から、バングラデシュ政府側の本事業に取り組む体制や仕組みを確認すること。

以上